



No.11

うらやす災害ボランティアセンター情報誌

平成 31 年 3 月 31 日発行

浦安市社会福祉協議会
浦安市災害ボランティアセンター
〒279-0042 浦安市東野 1-7-1
☎047-355-5520 fax 050-3153-2421
E-mail info@urayasusvc.jp
ホームページ <http://urayasusvc.jp>

NEWS & TOPICS

～毎号、災害ボランティアに関するニュースや出来事をお知らせします～

【訓練】2/24 災害 VC ニーズ聞き取り・相談対応訓練

2月24日、若潮公園・交通公園にて、浦安市災害ボランティアセンター（災害 VC）の移行・運営訓練を行いました。今年度は、災害ボランティアの受入・対応訓練ではなく、被災された方のお困り事（ニーズ）の聞き取りを中心とした訓練を実施。目的は、発災時、家の片付けや泥かきなど、目に見えやすいニーズだけでなく、生活課題などの潜在的なニーズを見いだすことです。

訓練には本会職員の他、聞き取り役・相談者役として、支部社会福祉協議会、市、市災害 VC 運営連携委員会委員（市防災課、市災害ボランティアネットワーク[災害 VN]、浦安青年会議所、市民生委員児童委員協議会、千葉県社会福祉協議会）など、64 人の皆さんに参加いただきました。

お困り事としては、屋根被害などの目に見え相談しやすいニーズの他、地震により子供が精神的に不安定、血圧や血糖値などの健康問題、地縁組織との関係が良くないなどがあり、潜在的なニーズや見逃してはいけない部分を掘り起こすことが出来るかが目標の一つです。

また、本会や関係団体からは、災害ゴミを自主的に集めた自治会からの集積場への運搬相談や市からの支援物資の仕分け、民生委員経由の見守り世帯でのつっぱり棒設置などの余震対策依頼、地域包括支援センターからは、成年後見人経由の家屋修繕費用相談がありました。

つづいて、事例検討会議が開かれ、災害 VC 単独では対応が難しいケースについて検討しました。ニーズとしては屋根の応急処置だが、実際には地震による不安や血糖値等の健康面での課題を抱えた方のケース。また、相談としては自宅を片付ける際の乳幼児の一時預かりだが、その背景には子どもたちが母親を震災で亡くし地震の精神的ショックがあるケースでした。実際に必要なニーズや相談内容まで聞き取れたかを確認し、どの支援先（制度）につなげたらよいかを話し合いました。

最後にアドバイザーのいいた災害 VN、李仁鉄氏より、「どうお話を丁寧に伺い、いかに発言の背景や真意まで考えられるか。ニーズ受付票は作業指示書ではなくアセスメントシートが良いのではないか」との講評を頂きました。



電話でのお困り事（ニーズ）受付



行政からの相談対応



ケース（事例）検討会議

【連携】2/24 災害 VC 拡大運営連携委員会

災害 VC 移行・運営訓練の後に、災害 VC 運営連携委員会の拡大バージョンを行いました。ケース会議に続いての委員会となり、災害 VC のみでは対応できないケースについて、実際の連携はどうすべきか、市や青年会議所(JC)、県社協などで検討いただきました。アドバイザーの李氏からは、「JC ならモノや人が出せるかもしれない。たくさん連携すれば色々と情報が入ってくる。お願いできる先を多く作る。行政の支援制度を紹介するなど、『答』えることができる」とのアドバイスを頂きました。



災害 VC 拡大運営連携会議

【講座】1/29 情報・IT 支援ボランティア講座

災害 VC で情報・IT 支援を行うボランティアを養成する講座を開催し、13 人が受講しました。災害ボランティア・災害 VC の解説の後、災害 VC の IT インフラ整備やニーズ管理・地図への落とし込み、ボランティア募集システムなど、実際の事例を紹介。次に講師の Nukiito 高山氏より、災害 VC の広報について、どのような媒体で発信すべきかのワークが行われました。続いて、ゼンリンの畑間氏より、住宅地図システムについての紹介と、本センター専門スタッフより、昨年の災害における活用例について報告がありました。実習として、広域地図印刷などの基本的な使い方を確認後、市のオープンデータを用いて、大字や自治会などの境界線のインポートの仕方などを学びました。その後、平成 30 年 7 月豪雨時の推定浸水域のインポートや、推定浸水住家数の推計を行いました。また、ニーズマッピングや調査用の帳票を作成しました。受講生からは「民間と公共でもっとデータ共有ができるとよい」などの感想をいただきました。



住宅地図システムの活用実習

【講座】3/20 防災ママカフェ in うらやす

今年も 3 月 20 日に「その時、ママがすることは？」をキーワードに開催し、子育て中の親と子を含め 68 人が参加しました。講義では、浦安の災害特性や備えについて、災害の壮絶さだけでなく、自分なら、いかにこの災害を生き抜くかの視点で、他人事になりがちな防災について、自分と自分の家族の命を自分が守るという覚悟をしっかりと持つことが大切と強調されました。後半は「子どもが食べられるものを準備しよう」という被災地のママの声から生まれた防災食調理&試食会を実施。缶詰のパンや加熱材で温めた五目御飯などを、お子さんたちと一緒に試食をしました。



お子さんも一緒に受講

災害ボランティア登録受付中！詳しくは、浦安市災害 VC の HP をご参照ください

